

令和5年

第2回猪苗代町農業委員会定例会議録

令和5年2月20日開催

猪苗代町農業委員会

令和5年第2回猪苗代町農業委員会定例総会会議録

1. 日 時 令和5年2月20日（月） 午前9時30分

2. 場 所 猪苗代町農村環境改善センター 3階 農事研修室

3. 出席者

農業委員

1 番 神 田 忍	2 番 渡 部 清 人	3 番 佐 賀 久 人
4 番 安 達 壽 人	5 番 古 川 悟	6 番 鈴 木 つや子
7 番 渡 部 義 正	8 番 渡 部 大 助	9 番 渡 部 悦 子
10 番 渡 部 清 美	11 番 別 府 昭 男	12 番 土 屋 勇 雄

農地利用最適化推進委員

13 番 笹 岡 正 人	15 番 喜 多 見 貞 雄	17 番 原 智 之
22 番 渡 部 清 昭	23 番 磯 谷 衛	

4. 事務局 農地係長 佐藤 すずい 主事 渡部 善和

(開議時間：午前9時30分)

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、ただ今から令和5年 第2回猪苗代町農業委員会定例総会を開会いたします。

本日の定例総会の招集につきましては、2月1日告示し、同日付で、農業委員及び関係する農地利用最適化推進委員に告知申し上げたところであります。

それでは、農業委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち

出席委員 12名、全員出席であります。

したがいまして、農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の出席がありますので、本総会は成立いたしました。

次に、農地利用最適化推進委員の出席状況を報告します。

在任委員数12名のうち、招集告知を申し上げた委員は6名であります。

出席委員5名、欠席委員1名、欠席委員は、24番 阿部 莊一郎 委員であります。

委員の皆様申し上げます。各議案の審議の際、調査員としての報告、または、補足説明を求められた場合は、挙手のうえ発言をお願いします。

また、調査員でない委員の方であっても、審議の際の発言は可能でありますので、その際は挙手をお願いします。

なお、推進委員の皆様には表決権がございませんので、採決には参加できません。あらかじめご了承ください。

次に、猪苗代町農業委員会総会 会議規則第18条により、議事録署名委員を、2名指名したいと思います。議長において、指名することに、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認め、

3番 佐賀久人 委員

10番 渡部清美 委員

の2名を指名いたします。

次に、審議の方法について、お諮りいたします。本日の提出議案については、議案ごとに一括して上程し、逐次審議することとし、採決は挙手による方法といたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ご異議なしと認めます。

本日の提出議案は、

報告第 2号 情報の提供について（農作業標準賃金）

報告第 3号 農地法第18条の規定による通知について（合意解約）

報告第 4号 農地法第43条の規定による届出について（農作物栽培高度化施設）

議案第 5号 農地法第3条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第 6号 農地法第5条の規定による許可申請について（所有権移転）

議案第 7号 農用地利用集積計画の決定について

議案第 8号 農用地利用配分計画（案）の意見について

議案第 9号 別段の面積の廃止について

以上、8件であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは始めに、報告第2号情報の提供について（農作業標準賃金）を議題といたします。

この案件につきましては、令和4年11月の総会時において、申請書審査委員会に見直しの是非を諮問した案件でありますので、渡部 委員長から説明を求めます。

○申請書審査委員会（渡部大助 委員長）

それでは、報告第2号の情報の提供（農作業標準賃金表）について、申請書審査委員会での検討内容と議案の説明をいたします。

まず、申請書審査委員会の開催状況を報告します。

令和4年11月の定例総会において、「令和5年度 農作業標準賃金表の策定」について、

会長より諮問を受けましたので、令和5年1月19日に申請書審査委員会を開催いたしました。

申請書審査委員会での検討の結果であります。まず福島県の最低賃金の変動により一般農作業賃金を増額し、昨年度までは、消費税抜きの料金を表示していましたが、消費税込みの料金に変更いたしました。

また、コンバイン刈、コンバイン刈（結束、ヒモ代含む）の料金が近隣市町村と比べて、低かったことから増額し、JAより色彩選別の料金変更がありました。

ラジコン・ヘリ散布の欄に、ドローン散布を新たに追加し、料金については、変更ございません。

そのほかの作業料金は、昨年と同じであります。

検討の経過と理由の詳細につきましては、事務局より報告をお願いします。

○事務局（佐藤 係長）

それでは、答申書により報告いたします。

検討の経過と理由であります。農作業標準賃金表については、過去にJAにおいて「農作業受委託事業」を行っていたことから、その受委託料をもとに策定していた経緯がありましたが、現在は近隣市町村の賃金表、軽油等の燃料代、福島県の最低賃金の推移などを参考に案を作成し、カントリーエレベーターの利用料金を定めているJA及びそば大豆のコンバイン刈取料を定めている猪苗代町そば大豆等刈取作業受託組合（町農林課事務局）から意見を徴し、決定するものであります。

作業料金等の変更につきましては、一般農作業賃金を福島県の最低賃金が858円になっていることから実働8時間で、6,900円に、コンバイン刈、コンバイン刈（結束、ヒモ代含む）の料金は、それぞれ1,000円を増額し、コンバイン刈は消費税込みで17,600円、コンバイン刈（結束、ヒモ代含む）は、消費税込みで20,900円に変更いたしました。

また、ドローンの作業につきましては、ラジコン・ヘリ散布の欄にドローン散布を新たに追加し、料金は変更ありません。

JA及び猪苗代町そば大豆等刈取作業受託組合へ令和5年1月24日付けで、申請書審査委員会が検討した（案）についての意見を求めたところ、JAより色彩選別の料金を消費税込みで341円に変更してほしい旨の回答があり、猪苗代町そば大豆等刈取作業受託組合からは異議ない旨の回答をいただきました。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

渡部 委員長及び事務局より説明が終わりましたが、この案件については、報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、報告第3号「農地法第18条の規定による通知について（合意解約）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

報告第3号「農地法第18条の規定による通知（合意解約）」について、説明します。

この報告は、農地の貸借契約を解約した旨、貸借契約の当事者から通知がありましたので報告するものであります。

4頁をご覧ください。

No.1からNo.4の借受人は、〇〇の〇〇 〇〇 法定相続人 〇〇 〇〇 外2名で、

No.1とNo.2の借付人は、〇〇の〇〇 〇〇と〇〇 〇〇、No.3とNo.4の借付人は、〇〇の〇〇 〇〇と〇〇の〇〇 〇〇であり、

解約理由は、耕作者を変更するためであります。

No.5の貸付人は、福島県農業振興公社、借受人は、〇〇の〇〇 〇〇で、解約理由は、耕作者を変更するためであります。

解約地積、貸借期間及び合意解約日等につきましては、議案書記載のとおりです。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件についても、報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、報告第4号「農地法第43条の規定による届出について（農作物栽培高度化施設）」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

報告第4号 農地法第43条の規定による届出について（農作物栽培高度化施設）について説明いたします。

この報告は、農業委員会に農作物栽培高度化施設の届出があったので報告するものであり

ます。

詳細について、担当の渡部よりご説明いたします。

○事務局（渡部 主事）

それでは、担当よりご説明いたします。

議案書の7頁と議案説明資料の3から5頁をご覧ください。

農地法第43条の規定による届出は、令和4年1月総会案件以降の2回目であります。

農作物栽培高度化施設の説明については、議案説明資料3、4頁に現行の農地法及び農地法施行規則条文の抜粋を参考として添付しております。

次に、報告第4号についてご説明させていただきます。

届出人は、猪苗代町字〇〇の 株式会社 〇〇〇〇 代表取締役社長 〇〇 〇〇 であり、対象の土地が 大字〇〇字〇〇3番2 田 2,956 m²で、こちらの農地に農作物栽培高度化施設を設置する旨、令和5年1月31日に届出がありました。

経緯としましては、現在栽培を行っている四季なりいちごの生産拡大及び新品種の試験的栽培また、新規作物の栽培のため既存ハウスに隣接して2棟増築したいとの意向があり今回1棟目を施工する運びとなったものであります。

施設の概要といたしましては、いちご栽培用のハウス1棟、面積907.2 m²、棟高7.5m、軒高3.5m、被覆材は、光を透過するビニールを使用するハウスで、隣接している既存のハウスと同様であります。

土地の利用計画については、議案説明資料の5頁のとおりであります。

なお、当該土地は、令和4年10月の定例総会において決定、公告された農用地利用集積計画に基づき、所有者 〇〇の〇〇 〇〇 氏と 借受人 株式会社 〇〇〇〇との間で、相対による利用権設定された土地であります。

農業委員会事務局といたしまして、当該施設が農作物栽培高度化施設の基準を満たしていることを届出書及び添付書類にて確認し、受理いたしました。

工事については2月1日より着工しており、現在ハウス本体工事が終わり、被覆工事を行っているところであります。

今後、農業委員会としましては、既存ハウスを含め、農地利用状況調査等で現地確認を行うこととなり、届出の内容で使用されているか確認し、計画に即した状態でなければ指導等することになります。

また、補足といたしまして、対象の土地は農振農用地区域内の農地であることから、農振法

上は農業用施設用地とすべく用途変更の手続きについて、現在町農林課と協議がされているところであります。

説明は以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたが、この案件についても報告案件でありますので、審議の対象ではありませんが、質問があればお受けいたします。

質問ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので報告を終結します。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第5号「農地法第3条の規定による許可申請について」（所有権移転）を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第5号「農地法第3条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。

この議案は、農業委員会の許可の適否を決定したいので審議をお願いするものであります。

9頁をご覧ください。

No.1の譲渡人は、福島県農業振興公社、譲受人は、〇〇の〇〇 〇〇で、字〇〇3番 外4筆 田 12,604 m²を、10a当たり509,422円と234,334円で 売買するものであります。

譲受人の経営状況等は、議案書記載のとおりであります。

なお、この案件につきましては、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局として受理し、担当地区の推進委員の方に調査書に基づく調査をお願いし提案しております。以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります13番 笹岡 正人 推進委員に報告を求めます。

○13番（笹岡正人 推進委員）

議案第5号No.1について、令和5年2月8日、申請人 〇〇 〇〇氏の自宅へ電話をし、調査書に基づく調査を実施したので、報告いたします。

本申請は、農地中間管理機構を介した農地の売買であり、平成30年1月に農地中間管理機構である福島県農業振興公社が買い入れた当該農地、田5筆を譲受人である〇〇 〇〇氏へ所有権移転するものであります。

〇〇氏は、平成30年当時、福島県農業振興公社と5年間の分割による割賦売買契約を締結しており、この度、土地売買代金が完済されたことから、所有権を移転するため、本申請に至ったものであります。

なお、完済までの5年間については、使用収益権の設定により、当該農地を使用してきたところであります。

申請に対する調査の結果としましては、〇〇氏は、認定農業者であり、農作業に常時従事することができるとともに、機械の保有状況や周辺地域との調和要件等、許可の要件を満たしていると思われるので、報告します。

○議長（土屋勇雄 会長）

1番 神田 忍 農業委員に申し上げます。
調査報告に補足があればお願いします。

○1番（神田忍 農業委員）

特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第5号のNo.1について、申請のとおり許可することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第5号のNo.1は、申請のとおり許可すること決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第6号「農地法第5条の規定による許可申請（所有権移転）」についてを議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第6号「農地法第5条の規定による許可申請（所有権移転）」について説明いたします。
この議案は、農業委員会の意見を決定したいので審議をお願いするものであります。

11頁をご覧ください。

No.1の譲渡人は、〇〇の〇〇 〇〇、譲受人が子の〇〇 〇〇で、申請地は、大字〇〇字〇〇
1183番 畑 1筆 502㎡であります。

申請事由としましては、申請人が住宅を新築し独立するに当たり、実家に隣接する本申請地
を、住宅用地として利用するためであります。

議案説明資料の6から8頁が、申請地の案内図、公図、土地利用計画図となっておりますの
で、併せてご覧願います。

なお、この案件につきましても、申請書としての形式的要件を備えておりますので、事務局
として受理し、担当地区の農業委員及び推進委員の方に調査票に基づく調査と、現地調査をお
願いし提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので、No.1の調査員であります10番 渡部 清美 農業委員
に報告を求めます。

○10番（渡部清美 農業委員）

議案第6号のNo.1について、2月10日、午後1時30分、私と、磯谷 衛 推進委員、申請者
代理人及び農業委員会事務局2名立会いのもと、現地調査を実施しましたので報告いたします。

申請地は、〇〇行政区の北側に位置する、農振農用地外（白地）の農地（畑）であります。

申請人は、譲渡人の子であり、現在祖母と両親、妻の家族5人で申請地西側の住宅に同居し
ておりますが、今後申請者夫婦に家族が増えた際に、現在の住宅では手狭なため、住宅を新築
し、親元から独立したいと考え、本申請に至ったものであります。

住宅を新築するに当たり、建築場所の検討をしましたが、周囲に適当な宅地等が無く、今後
高齢化していく両親の介護等を考慮し、自宅に近い本申請地が最も適地と考え、選定したも
のであります。

申請地は、実家に隣接した畑で、東側及び北側の畑の所有者からは同意を得ており、付近の
農地や農作物、また農業用排水施設等にも影響は無いものと思われれます。

以上の内容から、転用することに問題はなく、許可の要件を満たしていると判断したので報
告いたします。

○議長（土屋勇雄 会長）

23番 磯谷 衛 推進委員に申し上げます。
調査報告に補足があれば、お願いします。

○23番（磯谷衛 推進委員）

私からは、特に補足することはありません。

○議長（土屋勇雄 会長）

調査報告が終わりましたので、No.1の審議を行います。
調査結果は、許可の要件を満たしているとのことであります。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第6号のNo.1について、申請のとおり許可相当との意見を付して、県に進達することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第6号のNo.1については、申請のとおり許可相当との意見を付して県に進達することに決定いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第7号「農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第7号「農用地利用集積計画の決定について」説明いたします。

この議案は、猪苗代町長から農業委員会の決定を求められたので審議をお願いするものがあります。

13頁をご覧ください。

個人間の相対による利用権設定であります。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 4筆 3,901 m²を 期間4年
10a 当たり物納77kg 円で

No.2は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 10筆 19,273 m²を 期間9年
10a 当たり 12,000 円で

No.3は、〇〇の〇〇 〇〇が、〇〇の〇〇 〇〇に、田 8筆 3,587 m²を 期間4年

10a 当たり 10,000 円で

No.4 は、○○の○○ ○○が、○○の○○ ○○に、田 8 筆 22,195 m²を 期間9年
10a 当たり 10,000 円で

No.5 は、○○の○○ ○○ 法定相続人 ○○ ○○ 外3名が ○○の○○ ○○に
畑 10 筆 1,222 m²を 期間4年 10 a 当たり 1,000 円で

それぞれ貸し付けるものであります。

次に17頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社借入れ分であります。

No.1 は、○○の○○ ○○の 田 16 筆 42,060 m²を 期間6年 10 a 当たり 13,000 円で
○○の○○ ○○、○○ ○○、○○の○○ ○○に

No.2 は、○○の○○ ○○の 田 18 筆 36,567 m²と、畑 4 筆 3,804 m²を 期間6年
10 a 当たり 10,000 円と 5,000 円、無償で、○○の○○ ○○と○○の○○ ○○に

No.3 からNo.11 の借受人は、○○の○○ ○○で、

No.3 の貸付人は、○○の○○ ○○で、田 1 筆 3,163 m²を

No.4 は、○○の○○ ○○の 田 5 筆 16,026 m²を

No.5 は、○○の○○ ○○の 田 1 筆 3,616 m²を

No.6 は、○○の○○ ○○の 田 4 筆 7,062 m²を

No.7 は、○○の○○ ○○の 田 4 筆 14,043 m²を

No.8 は、○○の○○ ○○の 田 3 筆 8,753 m²を

No.9 は、○○の○○ ○○の 田 1 筆 6,288 m²を

No.10 は、○○の○○ ○○の 田 1 筆 3,726 m²を

No.11 は、○○の○○ ○○の 田 5 筆 9,783 m²を

それぞれ、期間10年、10 a 当たり 12,000 円で、公社が借受け、借受者に貸し付けるもので
あります。

次に、22頁から26頁は、これと同じ内容の公社貸付分であり、議案書記載のとおりであります。

この案件につきましては、申請者の申請に基づき、町が作成した「農用地利用集積計画書」の利用権設定案件については、担当地区の推進委員の方に、調査票に基づく調査をお願いし、提案しております。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行いますが、議案第7号の利用権設定 機構借入No.2の大字〇〇字〇〇10番から大字〇〇字〇〇38番までの9筆、機構貸付No.5は、〇〇番〇〇〇〇 農業委員が議事参与の制限に該当しますので、それらを除いた案件を先に審議したいと思います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第7号の利用権設定 機構借入No.2の大字〇〇字〇〇10番から大字〇〇字〇〇38番までの9筆、機構貸付No.5以外の案件について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第7号の利用権設定 機構借入No.2の大字〇〇字〇〇10番から大字〇〇字〇〇38番までの9筆、機構貸付No.5以外の案件については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

次に、議案第7号の利用権設定 機構借入No.2の大字〇〇字〇〇10番から大字〇〇字〇〇38番までの9筆、機構貸付No.5を審議しますので、〇〇番〇〇 〇〇農業委員の退席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 退席）

それでは審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第7号の利用権設定 機構借入No.2の大字〇〇字〇〇10番から大字〇〇字〇〇38番までの9筆、機構貸付No.5について、原案のとおり決するに賛成の農業委員の挙手を求め

ます。

挙手全員であります。

よって、議案第7号の利用権設定 機構借入No.2の大字〇〇字〇〇10番から大字〇〇字〇〇38番までの9筆、機構貸付No.5については、原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

〇〇番〇〇 〇〇農業委員の出席を求めます。

（〇〇〇〇 農業委員 出席）

〇〇番〇〇 〇〇農業委員に報告します。

議案第7号の利用権設定 機構借入No.2の大字〇〇字〇〇10番から大字〇〇字〇〇 38番までの9筆、機構貸付No.5については原案のとおり可決されました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第8号「農用地利用配分計画（案）の意見について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 係長）

議案第8号「農用地利用配分計画（案）の意見について」説明いたします。

この議案は、農地中間管理事業の推進に関する法律第19条第3項の規定により、猪苗代町長から農業委員会の意見を求められたので審議をお願いするものであります。

28頁をご覧ください。

農地中間管理事業の公社貸付分であります。

No.1は、〇〇の〇〇 〇〇に 田 11筆 18,102㎡を 期間3年 10a当たり10,000円で、公社が貸し付けるものであります。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。

意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第8号について、「異議ない」旨、回答することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第8号については「異議ない」旨、回答することに決定しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは次に、議案第9号「別段の面積の廃止について」を議題といたします。
事務局の説明を求めます。

○事務局（佐藤 農地係長）

議案第9号「別段の面積の廃止について」説明いたします。

この議案は、本委員会が設定している別段の面積を廃止したいので、審議を求めるもの
あります。

この案件につきましては、農地法第3条第2項第5号の規定により定められていた下限面積
要件が、農業経営基盤強化促進法等の一部が改正され、令和5年4月1日から施行されること
に伴い、その効力が失われることから、令和2年3月2日付け、猪苗代町農業委員会告示第3
号にて設定していた別段の面積を、令和5年2月28日付けで廃止するものであります。

以上であります。

○議長（土屋勇雄 会長）

事務局の説明が終わりましたので審議を行います。
意見、討論、質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

ないようですので、採決を行います。

議案第9号について、別段の面積を廃止することに賛成の農業委員の挙手を求めます。

挙手全員であります。

よって、議案第9号については「別段の面積を廃止」することに決定しました。

○議長（土屋勇雄 会長）

以上で、本総会に付議されました案件は、すべて終了いたしました。

○議長（土屋勇雄 会長）

それでは、これをもちまして、令和5年 第2回猪苗代町農業委員会定例総会を閉会
いたします。

ご協力ありがとうございました。

（閉会時間：午前10時 8分）

本委員会定例総会の内容を記録し、相違ないことを証明するため議長及び議事録署名人はここに署名する。

令和 5年 2月20日

議 長 (会 長)

署 名 人

署 名 人